



クローバー通信 No. 3

ご挨拶

熊坂伸子後援会会長 平井昭吉

残暑お見舞い申し上げます。

皆様のお陰を持ちまして熊坂伸子は今回の補欠選挙におきまして宮古市議会に議席を得ることができました。改めて心から厚く御礼を申し上げます。

熊坂伸子は、皆様と交した「8つの方針」の実現に向けて当選翌日から活動を開始いたしました。議員としては新人ではありませんが、「市民と共に」の信条の下、これまでの豊富な経験を生かして次期目標に向かいしっかりと仕事をしてくれるものと確信しています。皆様におかれましては熊坂伸子に今後ともご指導を賜り、支援の輪をさらに広げて頂きますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ挨拶といたします。時節柄ご自愛ください。

「新人議員は意外と忙しい」

熊坂伸子の1カ月

6月26日(月) 当選証書授与式

6月29日(木) 会派代表者会議(会派に所属しない議員として出席し、経済常任委員会に所属することが決定しました)

6月30日(金) 宮古市戦没者追悼式

7月4日(火) 姉妹都市八幡平市議との交流会(田老被災地視察、崎山貝塚縄文の森公園視察等)

7月6日(木) 中心市街地拠点施設工事現場視察(新しい市役所の建設工事現場です)

7月7日(金)・議員全員協議会(平成29年度県への要望について)

・議員研修会(新人議員研修です)

・宮古湾内星空試乗会(観光船『陸中丸』に乗って星空観察…満月でした)

7月10~12日(月~水) 行政視察研修(経済常任委員会で来年のフェリー就航に関連して大洗町を、6次産業化の勉強に古河市を訪問視察しました)

7月18日(火)・議員全員協議会(市県民税の課税漏れについて市より説明を受けました)

・経済常任委員会(農地等災害復旧工事について説明を受けました)

7月20日(木)『海の日』記念式典

7月21日(金) 帆船「海王丸」入港歓迎事業

7月25日(火)・議員全員協議会

・平成29年7月宮古市議会臨時会(平成29年度一般会計補正予算について、宮古市副市長の選任に関し同意を求めることについて他が話し合われました)

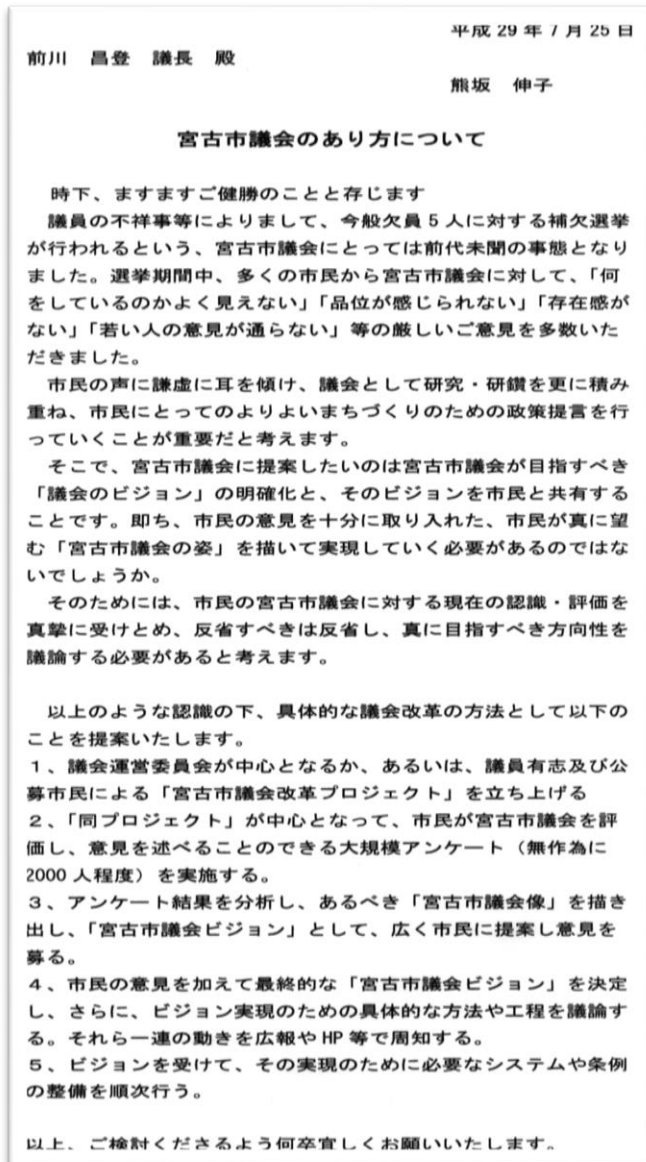


6月26日 当選証書授与式の後、職員にバッジをつけてもらう(写真提供:宮古民友)

議会運営についての要望書を

議長に提出しました

選挙公約の一つ「議会改革」に関連して、議会運営に関する意見を7月25日に議長あて提出しました。その内容は以下の通りです。皆様もご意見をお寄せください。



「岩手県沿岸市町村女性議員

ネットワーク」を立ち上げます！

東日本大震災や、台風 10 号の被害から、皆で力を合わせて立ち上がりつつある宮古市ですが、それと同時に市民の間に「寂しさ」や「虚しさ」など、道路や建物の建設だけでは埋められない「心の疲労」が感じられるこの頃です。これは宮古だけでなく、被災地全般にいえることではないでしょうか。そこで、女性の視点から「復興とその先の希望」をテーマに「沿岸振興」を考え、同じ悩みや課題を抱える市町村の女性議員が政策提言していくことを目標に、「岩手県沿岸市町村女性議員ネットワーク」を立ち上げ、勉強していくことにいたしました。7月末に、熊坂伸子他有志4人が発起人となって、沿岸市町村の女性議員全員に呼びかけました。

9月中旬に準備をして10月末に宮古市内で設立総会、設立記念講演会（政令指定都市として初めての女性市長である奥山恵美子仙台市長を予定）& シンポジウムを開催予定です。講演会やシンポジウムは市民の皆さんどなたでも参加できますので、どうぞお出かけください。詳細は決まり次第「熊坂伸子後援会 HP」などでお知らせいたします。



バックナンバーのお知らせ

熊坂伸子後援会報「クローバー通信」の NO.1（4月27日発行）と、NO.2（6月1日発行）の残部がありますので、ご希望の方にお届けいたします。ご希望の NO.と部数を事務局までお電話または FAX でお知らせください。

☎ 0193-62-5954

FAX 0193-63-0882

大洗町・古河市視察研修報告（7月11～12日）

経済常任委員会に所属して、早速、視察研修がありました。行き先はNHK朝の連続ドラマ「ひよっこ」で有名になった茨城県です。来年、宮古・室蘭間の定期フェリー航路が開設しますので、フェリーを活用したまちづくりの取り組みを大洗町で見せていただきました。また、視察2日目には、古河市で6次産業化に取り組む「(株) 森ファーム」の様子を拝見させていただきました。

7月11日（火）大洗町

大洗町は、茨城県太平洋沿岸のほぼ中心にあり、東京から約100キロの距離に位置しています。30年ほど前から北海道苫小牧港へカーフェリーが就航。現在週12便体制で運航し、北関東の物流・人流の拠点として港勢を伸ばしています。また、港を賑わい空間の拠点と位置付けて、海浜公園や大洗マリーナ等の一体的な整備と合わせ、大洗リゾートアウトレットや、東京かねふく「めんたいパーク」がオープンするなど、年々賑わいを増しています。年間の観光客数は約444万人（平成27年・ちなみに宮古は約120万人）です。



町はコンパクトながら活気にあふれ、観光客が大型バスで乗り付けてどこに行ってもにぎやかでした。特に、海産物の市場や食堂が並ぶ界隈や、新しくできた「めんたいパーク」はにぎわっていました。宮古市でもフェリー就航と、豊かな宮古の食材や食文化の発信を組み合わせることで、新たな観光の目玉とできるのではないかと感じました。

フェリーを活用した取り組みでは、「北海道洋上

体験学習」や「親子ふれあいクルーズ IN 北海道」等の、青少年健全育成プログラムに興味を持ちました。

「北海道洋上体験学習」は、町内の小学6年生全員が、夏休みを利用して北海道までの船旅の中で、4泊5日の体験学習を行うというものです。一方「親子ふれあいクルーズ IN 北海道」は、小学生と親の二人一組で応募するもので、大洗町に限らず広く北関東3県から募集しているということでした。宮古市にとっても大変参考になる事例だと感じました。

7月12日（水）「(株) 森ファーム」

街中から少し離れたところに、ナチュラルフードのお店「里山の森ぽっぽ」と、そばとオーガニック野菜のレストラン「ゆるりの森」が佇んでいました。私たちを迎えてくださったのは、森ファームの代表である森氏です。森ファームは生産と加工と販売を見事にマッチさせた農業展開をしています。「里山の森ぽっぽ」に隣接した研修棟に案内していただき、パワーポイントによる説明をお聞きしました。

お話の主な部分は、農家に生まれた森氏が、農家として生きていくために様々な挑戦をしてきた人生について、そして森ファームとして成功した原点というべき森氏の「思想」についてでした。

森ファームの例は顧客のニーズと森ファームの理念が見事に一致したところで、安定経営が実現したものです。「顧客ニーズの的確な把握」が、全ての産業に共通した、ロイヤルロードであると改めて感じました。宮古市が森ファームから学ぶものは、不便さはマイナスではないということ。そして、本物の良さを分かる顧客は必ずいるということでしょう。宮古市がもともと持っている素晴らしい資源を、自信を持って、誠意を持って、愚直に丁寧提供していくこと。それが他地域との差別化を図る確かな道であると再確認することが出来ました。

「期待しています！」

大崎奈美さん

(実田)



ご当選おめでとうございます。

私は10年ほど盛岡に居りましたが、2年前に家の事情で宮古に戻ってきました。そして感じたのは「元気がない故郷」ということです。

宮古市民が元気に安心して暮らしていくためには、市政に携わる方々が自分の名誉や利害を優先したり、大上段に構えている人であってはならないと思います。

熊坂伸子さんは常に弱者の声に耳を傾け、隣に寄り添ってくれる方です。これまでの豊富な経験を活かし、宮古を元気にして下さる方であると確信しております。

震災から6年が経ちました。私たち市民もこの先宮古がどう進んでいったら良いのか、子育て、教育、福祉、医療などについて関心を持ち、考える必要があると思います。

熊坂伸子さんには私たちの声を市政に反映させ、「市民のための市政」実現のために尽力して下さることを期待します。

河北新報に掲載されました

「最強市議」って?!

河北新報 2017年(平成29年)6月27日

取材メモらんだむ

最強市議 宮古に誕生

○…宮古市に「最強市議」が誕生した。市長選と同日程の市議補選(欠員5)でトップ当選の無所属新人熊坂伸子氏(64)だ。

議員補選の大量得票は珍しくないが、それにしても熊坂氏の得票は2位当選の3倍以上。1万2450票は、市長選で落選した新人候補の得票(1万1782票)をも上回った。

弘前大と慶応大を卒業し、東北大大学院で自治体経営学の博士号を取得。旧滝沢村助役や普代村教育長を歴任した「華麗なる経歴」に加え、夫義裕氏(65)は前宮古市長。本人は「議会に新風を吹き込みたい」と語るが、周囲からは「将来の市長候補」との呼び声も。

9月上旬出版予定です

熊坂伸子のライフワークでもあります小中一貫教育について、お茶の水女子大で研究したものが出版の運びとなりました。熊坂伸子著、耳塚寛明(お茶の水女子大学教授)監修。タイトルは「検証・小中一貫教育のマネジメント～地域ビジョンと学校評価の活用～」です。A5版、約250頁、定価本体2,700円+税。完成予定は9月1日、出版社は第一法規(株)です。書店で見かけたら、どうか手にとってご覧ください。ご感想をお待ちしております。

熊坂伸子後援会事務所

〒027-0075 宮古市和見町10-22

☎0193-62-5954

FAX 0193-63-0882

代表:平井昭吉

7月1日から山口絢子さんが後援会の事務の仕事をしています。図書室のご利用も従来通り行っております。

お気軽にお立ち寄りください。